

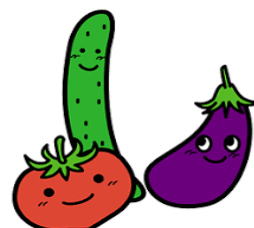


だいぜんじ

「暑～い」2学期のスタート！

短く、暑い夏休みでしたが、いい時間を過ごせましたでしょうか。あちこち出かけることもできなかったのではないかと思います。私も、出かけたのは、お盆のご先祖参りくらいでしたが、それでも、感染予防と熱中症予防には、本当に気を遣いました。

8月21日、始業前の2年生の花壇の所で、なにやら賑やかそうなので行ってみると、ナス、ピーマンが青々と鈴なりに実っていて、子どもたちが楽しそうに収穫をしているところでした。「生き生きとした夏野菜&子どもたちの笑顔」の画から、私自身もとても元気をもらいました。



放送による始業式では、子どもたちに次のような話をしました。

●学校は、集団で過ごす所です。今、この学校の中に600人近くの人と一緒に生活しています。おうちの中のように自分の思うようにばかり動けないこともあるのです。なので、①ルールを守り、②周りの人のことを気かけながら、③目標に向かってがんばることで、学校を楽しい所にしていきましょう。

●運動会も行う予定です。やるからには、がんばることを決めて、協力したり、力を精一杯出し切ったりして、「やってよかった！」と思える運動会にしてほしいです。

●「かしこく、正しく、たくましい」大善寺の子どもにつながる2学期の目標を、一人一人が決めて、また、クラスとしても目標を決めて、元気に過ごしていきましょう。コロナ感染予防と熱中症予防については、引き続き、気を緩めず、みんなで気をつけていきましょう。

「平和な世の中を」って本当に伝えていける？ ～part II～

夏休み期間中、8月9日の長崎原爆投下、8月11日の久留米大空襲、8月15日の終戦記念日などの節目の日を迎えましたが、戦争のことに触れ、平和について、お子さんと話をしたり、テレビを見たりするような機会はありませんでしたでしょうか。

先日、「ドキュメンタリー沖縄戦」という映画を鑑賞しました。唯一の地上戦となった沖縄戦を体験された方の証言などを紹介する内容でした。アメリカ兵と日本兵と沖縄の住民とが入り乱れる凄惨な様相と化す中で、「玉砕」「集団強制死（集団自決）」といった悲しい出来事へとつながっていきます。その背景に、当時の教育が大きく影響を与えている事は否めません。「生きて虜囚（りょしゅう）の辱めを受けず」など、軍国主義的教育に洗脳されてしまったが故に招いた悲劇とも言えます。そのように考えると、「教育」がいかに大切であるか。私たち大人が、子どもたちに、どのように戦争のことを伝え、平和な世の中に向けて行動していくかを問い続けていきたいです。前回の繰り返しになりますが、「今も紛争や戦いは起こっているのです。これから先、日本だけが平和であり続けるなんてことができるでしょうか。」

